

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 法令等を遵守します。
- 2 生徒の人格を尊重します。
- 3 敬意と信頼に基づく職場環境を整えます。
- 4 当事者意識を持って不祥事根絶に取り組みます。

福島県立安積高等学校

区分	1 課題、改善が求められる点	2 今年度の行動目標・取組内容	3 点検方法・時期	4 検証(左記123の反省、今後の課題等)
教職員の規範意識の確立	<p>教員の年齢構成が高く、豊富な教職経験がある反面、それが自己過信を招くことにもつながりかねない。</p> <p>また進学校ゆえに教科指導に偏ってしまうことで、心に悩みや迷いを抱える生徒への対応・指導が配慮に欠けたものになってしまうおそれがある。</p>	<p>①教職員としての社会的な立場・要請・使命を再確認する。</p> <p>②日々生徒と接する中で、偏った生徒観を抱いていないか、謙虚に内省する。</p> <p>③生徒及び保護者等に対してアンケートを実施し、客観的な評価から反省し、改善策を練り行動する。</p>	<p>①②年間数回、不祥事防止チェックシートを教員へ配付し、チェック・回収・集計・評価をすることで、不祥事防止の意識を継続させる。</p> <p>①②手引き等を参考に事例研究を行う。</p> <p>①②服務倫理委員会では、チェックシート集計結果等を基にしながら本校の現状や問題点について意見交換を行い、職場の改善に取り組む。</p> <p>③アンケート(授業評価・学校評価)を年2回実施する。</p>	
学校組織としての不祥事根絶体制の確立	<p>教科指導と部活動に追われ、職員間の意思の疎通は仕事面での事務的なものに偏りがちである。このため悩みを相談する時間や心の余裕が不足しストレスを抱えてしまうようである。</p> <p>また余裕が無いのか自身の校務分掌外の件については他人まかせになりがちである。</p>	<p>①ストレスの軽減に努め、特にわいせつ・セクハラ根絶を自覚する。</p> <p>②お互いに良好な職場環境づくりを心掛け、協働意識を醸成する。</p>	<p>①ストレスチェック事業を活用して、自身の精神状態や疲労を把握する。</p> <p>①スクールカウンセラー等を中心に、職員向けにストレス解消法や心身の健康維持法を知る研修会を企画する。</p> <p>②服務倫理に関する内容の簡単な「たより」を作成し、職員会議等でこれを使いながら協働意識と服務倫理意識について共通理解を図る。</p> <p>②生徒面談や保護者面談で得た情報の確認・評価・対応を丁寧に行うとともに、職員間で早期に情報共有する。</p>	
	<p>交通量が多い地域に学校があり、また私有車による通勤範囲が広く、交通事故・違反の発生が懸念される。</p> <p>また飲酒する際には、飲酒運転防止を常に心がけなければならない。</p>	<p>①交通ルールの遵守は勿論であるが特に出退勤時は時間に余裕を持てるよう行動し、事故・違反を未然防止する。</p> <p>②不祥事を起こした場合の自他の大きなリスクを再確認することで抑止力とする。</p>	<p>①安全運転については日頃から啓発を行うが、特に交通安全週間の際は注意を喚起する。</p> <p>②チェックリスト・事例研究を実施する。</p>	